

2026年度

# 自主防災活動 の手引き



多治見市

## ～ はじめに ～

近年、全国各地で大規模な災害が発生しています。私たちが住む地域でも、巨大地震、大雨による浸水害、土砂災害などにより、人的・物的に大きな被害が発生する恐れがあります。南海トラフを震源域とする地震は周期的に発生しており、直近に発生した地震からの経過年数を考慮すると、次の地震発生までに多くの時間が残されているとは言えない状況です。私たちは、被害を最小限に抑える努力と、被害に対処するための能力を身に付けることで、災害に備えておく必要があります。

このような備えや対処は、ご自身で行っておくことが基本となりますが、自分と家族だけではできないこともあります。そうした時に最も頼りになるのが近所の方の手助けで、こうしたご近所の力を有効に活用するために組織していただくのが、“自主防災隊”です。

この自主防災活動の手引きは、自主防災隊が効果的に活動できるように、役割分担や行動の例を示したものです。この手引きを参考に、それぞれの地域に即した自主防災活動を行ってください。

- 自主防災隊って何？ P2
- どんな活動をするの？ P3
- 自主防災隊の体制 P4
- 避難所運営組織の役割 P6
- 指定避難所、指定緊急避難場所一覧 P7
- 福祉避難所一覧 P8
- 防災倉庫備蓄品一覧 P9
- 自主防災隊の活動事例 P13
- 自主防災組織支援事業補助金 P15

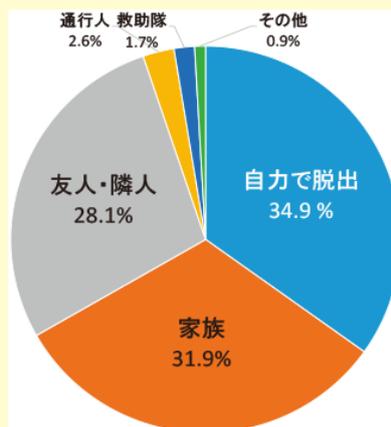
# ●自主防災隊って何？

## 自助・共助を強化するための組織です

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防・軽減するとともに、応急対応の活動を行う組織です。災害発生時あるいは災害発生の恐れが極めて高くなった時に、最も頼りになるのは近所に住む人たちであることは、これまでの災害で明らかです。なお、自主防災隊の規模については、定まったものではありませんが、「地域の住民が協力して地域を守る」という、自覚、連帯感に基づき、顔見知りでなじみやすいと思われる町内会単位の比較的小規模な組織の結成を推進しています。

阪神・淡路大震災では、9割以上の方が、自力または家族や隣人によって倒壊した家屋から救出されています。

図表 1-1-1 阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等



出典：(社) 日本火災学会 (1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より内閣府作成

# ●どんな活動をするの？

## 平常時の活動（例）

### ●災害に備えるための活動

- 防災資機材の整備
- 備蓄品の管理

### ●災害時の活動の習得

- 消火訓練、災害対応技術取得
- 避難訓練
- 給食給水訓練

### ●被害を軽減するための活動 ●普及・啓発活動

- 地域の危険箇所の把握
- 地域の避難路、避難所の把握
- 避難行動要支援者の把握
- 防災講演会の開催
- 他の団体との連携の促進

※避難行動要支援者とは、災害発生時の避難等に特に支援が必要とされる方

## 災害時の活動（例）

### ●情報収集・伝達活動

- 被害情報・救援情報の収集と伝達
- 防災機関との連絡

### ●被害軽減の活動

- 消火器などによる消火活動

### ●避難誘導活動

- 住民の避難所への誘導
- 住民の安否確認

### ●応急救護活動

- 負傷者の救出救護
- 医療機関への連絡
- 介助が必要な方への手助け

### ●給食給水活動

- 食料・飲料水の調達と炊き出し
- 救援物資の受領・分配

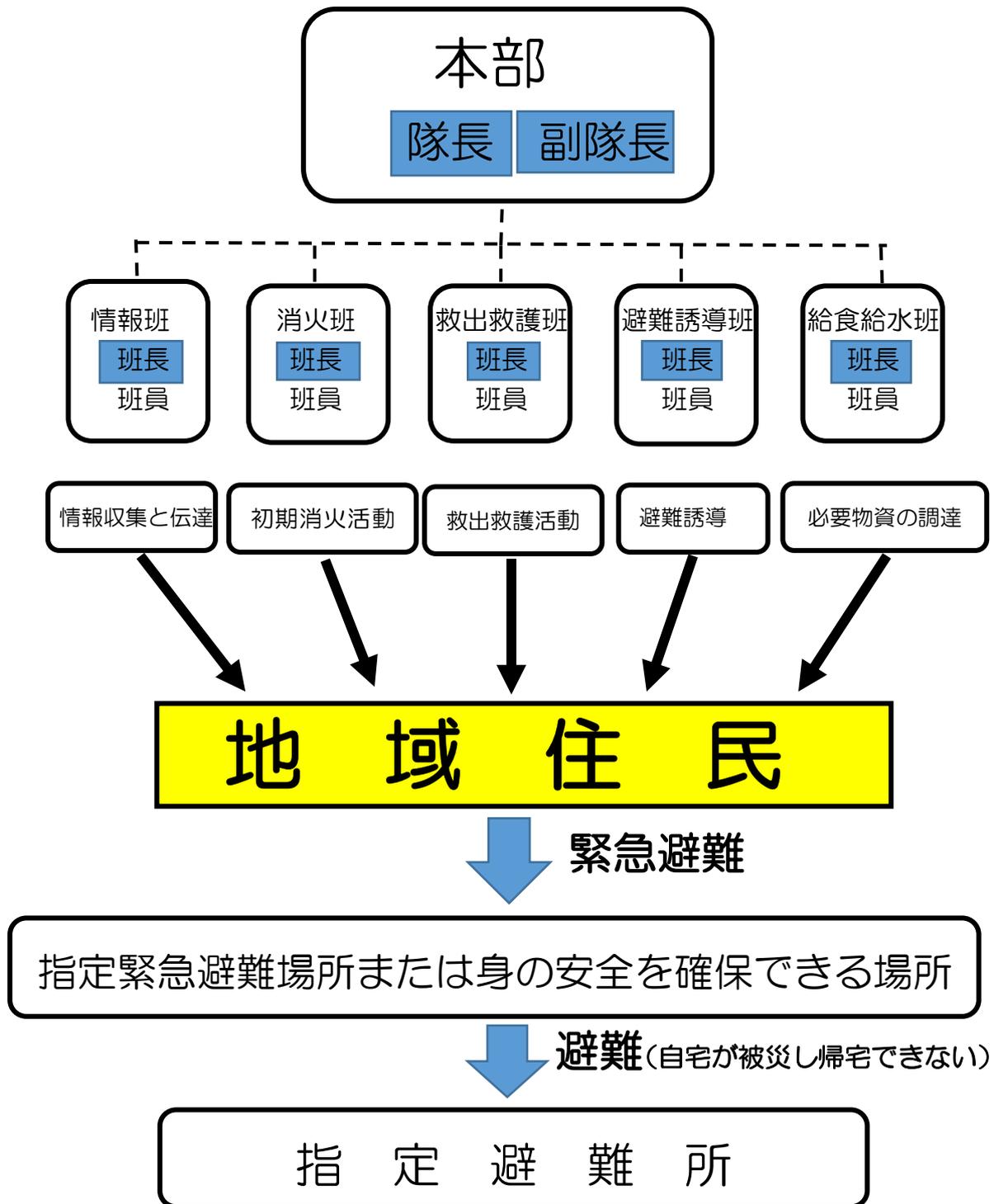


# ●自主防災隊の体制

災害が発生した時、自主防災組織（隊）における役割分担は下表のとおりです。誰がどの役割を担当しても、ある程度対応できるように、全員にその役割を周知しておくことが大切です。

役割分担	主な活動内容
<b>本部役員</b> (隊長・副隊長)	1. 自主防災組織本部の設置 2. 地域情報、被害情報の取りまとめ 3. 他の自主防災組織との連絡調整 4. 市の関係機関との連絡調整
<b>情報班</b>	1. 地域への情報伝達・広報活動 2. 被害状況・注意事項の伝達 3. 災害支援活動の実施状況の伝達
<b>消火班</b>	1. 出火防止活動（火気使用の制限、出火防止の注意） 2. 初期消火活動 3. 火災発生状況の把握
<b>救出救護班</b>	1. 避難行動要支援者への支援 2. 負傷者の把握・救出 3. 救護所設置への協力 4. 応急救護活動
<b>避難誘導班</b>	1. 地域内の道路状況の把握 2. 避難誘導 3. 避難所における避難者の誘導・指導
<b>給食給水班</b>	1. 地域内の必要物資の把握 2. 物資調達、物資の配布 3. 生活関連物資の管理 4. 炊き出しの実施

# 自主防災隊の体制図



- 指定緊急避難場所：災害により身に危険が迫った際に、安全を確保する場所
- 指定避難所：被災者が長期生活を営むための施設

# ●避難所運営組織の役割

大規模災害に伴い避難所が開設されたとき、自主防災組織は、自治会と共に避難所運営組織を設置し、避難所共通ルールを基本に自主的に運営します。運営組織のメンバーは、性別に偏りがないように選任することが重要です。また、避難者は、町内会等の地区ごとにグループを組織し、避難所共通ルールに基づき、避難所の運営に積極的に参加するようにします。

## 避難所運営の組織図

